




野菜の需給・価格動向レポート(平成25年5月8日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	4月の価格動向				生育及び価格の5月の見通し		
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均 販売価格					
		上旬	中旬	下旬			
葉 茎 菜	キャベツ 	88.05	96	102	107	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神奈川産は、生育が順調で、平年を上回る出荷となっているものの、ピークを過ぎ後は出荷量が減少傾向となる見込み。千葉産は、生育が順調で、今後は出荷のピークを迎え、出荷量が増加する見込み。 ・ 順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。 	
		83.73	82	83	100		<ul style="list-style-type: none"> ・ 入荷見込量：4,500t (91) ・ 主産地：愛知 (19)、兵庫 (19)、福岡 (14)、大阪 (9)、熊本 (9)、和歌山 (7)
	ねぎ 	264.1	223	194	229	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉産は、順調な生育で平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、5月いっぱいの出荷の見込み。茨城産は、夏ねぎの出荷となり、今後出荷量が増加する見込み。 ・ 順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。 	
		334.73	230	268	292		<ul style="list-style-type: none"> ・ 入荷見込数量：230t (108) ・ 主産地：徳島 (31)、香川 (17)、高知 (14)、三重 (11)、大阪 (11)、奈良 (9)
	はくさい 	67.05	52	33	56	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茨城産は、4月の低温の影響で少なめの出荷となっているものの、今後は気温の上昇の影響もあり、出荷量が増加する見込み。 ・ 茨城産の出荷量の増加が見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。 	
		77.96	49	49	63		<ul style="list-style-type: none"> ・ 入荷見込量：2,800t (81) ・ 主産地：茨城 (43)、大分 (17)、熊本 (14)、宮崎 (8)
	ほうれんそう 	376.1	447	514	619	<ul style="list-style-type: none"> ・ 群馬産は、平年並みの出荷となっているものの、今後はやや生育が遅れている山間部の出荷となることから、少なめの出荷となる見込み。茨城産は、平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、残量が少なめで、平年より早めの切り上がりとなる見込み。 ・ 群馬産及び埼玉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年を上回って推移する見込み。 	
		396.89	412	562	594		<ul style="list-style-type: none"> ・ 入荷見込量：470t (100) ・ 主産地：岐阜 (70)、福岡 (9)、群馬 (7)
	レタス 	156.23	148	165	226	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長野産は、平年並みの生育で、中旬からまとまった出荷となるものの、4月の降雪、降霜及び少雨の影響を受け、小玉傾向で少なめの出荷の見込み。茨城産は、5月13日の週末までの出荷となる見込み。 ・ 長野産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年をやや上回って推移する見込み。 	
		165	159	189	242		<ul style="list-style-type: none"> ・ 入荷見込量：1,650t (100) ・ 主産地：長野 (44)、兵庫 (41)
	たまねぎ 	76.15	80	66	57	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐賀産は、生育が良好で、平年を上回る出荷となり、今後も順調な出荷の見込み。兵庫産は、少なかった前年を上回る出荷となっており、今後は中旬に出荷のピークを迎え、出荷量が増加する見込み。 ・ 潤沢な出荷が見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。 	
		76.15	77	69	61		<ul style="list-style-type: none"> ・ 入荷見込量：4,600t (94) ・ 主産地：佐賀 (52)、兵庫 (35)、長崎 (7)
果 菜	きゅうり 	253.95	295	258	213	<ul style="list-style-type: none"> ・ 埼玉産は、順調な生育で、ピークを迎えており、今後も平年並みの出荷の見込み。群馬産も、好天で順調な出荷となり、中旬までは安定した出荷量となる見込み。 ・ 順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。 	
		242.77	253	244	184		<ul style="list-style-type: none"> ・ 入荷見込量：1,850t (95) ・ 主産地：宮崎 (41)、高知 (16)、徳島 (13)、愛媛 (8)、群馬 (7)
	トマト 	339.78	431	424	339	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熊本産は、好天と面積増加の影響を受け、平年より多めの出荷となり、今後も順調な出荷の見込み。栃木産も、好天により着果状況が良好で、10日前後が出荷のピークとなり、今後は平年並みの出荷の見込み。 ・ 順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。 	
		321.78	417	409	349		<ul style="list-style-type: none"> ・ 入荷見込量：1,900t (104) ・ 主産地：熊本 (52)、福岡 (16)、愛知 (13)、徳島 (6)
	なす 	347.77	339	353	341	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高知産は、好天により生育が順調でピークを迎えており、今後も順調な出荷の見込み。福岡産は、夜温が低いことから、平年より少なめの出荷となり、今後は少なめの出荷の見込み。 ・ 福岡産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年をやや上回って推移する見込み。 	
		330.95	324	335	324		<ul style="list-style-type: none"> ・ 入荷見込量：1,100t (105) ・ 主産地：高知 (27)、熊本 (23)、大阪 (17)、福岡 (15)、岡山 (9)
	ピーマン 	308.36	398	403	423	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茨城産は、平年並みの出荷となっているものの、3月の曇天の影響により、今後はやや少なめの出荷量となる見込み。高知産は、好天により生育が順調でピークを迎えており、今後は順調な出荷の見込み。 ・ 茨城産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年を上回って推移する見込み。 	
		283.1	311	337	347		<ul style="list-style-type: none"> ・ 入荷見込量：480t (101) ・ 主産地：宮崎 (59)、高知 (24)、和歌山 (7)、鹿児島 (7)
	根 菜	だいこん 	86.59	68	66	82	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉産は、4月の生育が順調で出荷の前進化により少なめの出荷となり、今後は少なめの出荷の見込み。 ・ 少なめの出荷が見込まれることから、平年を下回っている価格は、平年並みとなる見込み。
			94.24	54	54	55	
		にんじん 	156.99	184	158	135	<ul style="list-style-type: none"> ・ 徳島産は、生育が順調でLサイズ中心の出荷となり、平年より多めの出荷となっているものの、ピークを過ぎ今後は平年並みの出荷の見込み。千葉産は、順調な生育となり、下旬から出荷の見込み。 ・ 順調な出荷が見込まれることから、平年を下回っている価格は、平年並みとなる見込み。
			148.36	184	153	129	

種類	4月の価格動向				生育及び価格の5月の見通し
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	上旬	中旬	
いも	-	165	167	154	—
	-	116	168	188	
	さといも	131.8	87	91	86
ばれいしょ	131.8	86	93	85	・入荷見込量：5,400t (95) ・主産地：長崎 (57)、鹿児島 (25)、北海道 (15)

- 1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)
- 2) 旬別平均販売価格の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)
- 3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
- 4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。
- 5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
- 6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、3月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,961gで前年比108%、購入金額は、1,769円で同96%となり、購入数量は前年をかなり上回り、購入金額は前年をやや下回った。また、小売物価統計によると、4月のキャベツの小売価格は、207円で過去5か年平均比83%、レタスは、397円で同85%となり、キャベツは過去5か年平均を大幅に下回り、レタスはかなり下回った。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)

年	過去5か年平均		平成24年		平成25年	
	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	前年比
1月	4,271	1,557	4,189	1,634	4,243	101
2月	4,447	1,610	4,499	1,735	4,553	101
3月	4,797	1,765	4,584	1,851	4,961	108
4月	4,723	1,834	4,620	1,904	0	0
5月	5,055	1,905	4,945	1,948	0	0
6月	5,048	1,881	5,103	1,875	0	0
7月	4,421	1,691	4,386	1,675	0	0
8月	4,318	1,689	4,245	1,618	0	0
9月	4,839	1,783	4,916	1,703	0	0
10月	5,280	1,840	5,242	1,761	0	0
11月	5,030	1,630	5,039	1,602	0	0
12月	5,140	1,837	5,169	1,888	0	0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」・過去5か年平均は、平成20～24年の平均。

主要野菜の月別小売価格(東京都区部)

月	キャベツ			レタス		
	過去5か年平均	平成25年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成25年	5か年比(%)
1月	187	203	109	579	904	156
2月	203	204	100	555	722	130
3月	207	181	88	512	434	85
4月	248	207	83	466	397	85
5月	175	0	0	369	0	0
6月	140	0	0	338	0	0
7月	149	0	0	308	0	0
8月	138	0	0	414	0	0
9月	142	0	0	526	0	0
10月	150	0	0	467	0	0
11月	155	0	0	385	0	0
12月	148	0	0	495	0	0

資料：総務省「小売物価統計調査報告」
1) 過去5か年平均は、平成20～24年の平均。
2) 平成25年4月の値は、4月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

3月の野菜の輸入を貿易統計で見ると、生鮮野菜は、前年比79%の9万1千トン、加工野菜は、同85%の13万3千トン、野菜全体は、同83%の22万3千トン、うち中国は同75%の10万3千トンとなった。生鮮野菜及び野菜全体は前年を大幅に下回り、加工野菜はかなり下回った。

野菜の輸入数量

区分	平成23年		平成24年		平成25年1～3月		平成25年3月	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	
生鮮野菜	915,091	112	946,931	103	228,574	78	90,611	79
加工野菜	1,803,510	107	1,909,671	106	429,232	97	132,792	85
野菜合計	2,718,600	109	2,856,601	105	657,806	89	223,403	83
うち中国産野菜合計	1,409,984	110	1,458,418	103	324,229	88	103,437	75
中国産シェア	52		51		49		46	

資料：ページ探 (原資料) 財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入動向

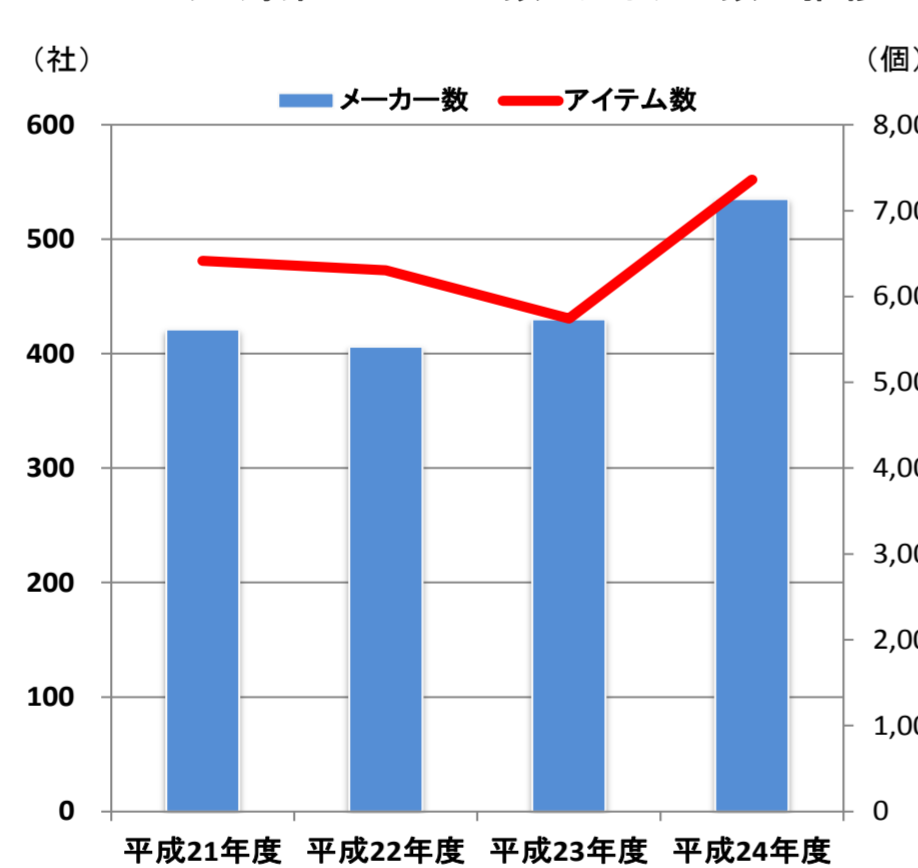
品目	輸入先	平成24年3月(A)	平成25年3月(B)	(B)/(A)
		前年比	前年比	前年比
たまねぎ	合計	35,756	21,892	61
	中国	22,038	15,797	72
	アメリカ	5,030	892	18
にんじん	合計	12,250	8,712	71
	中国	8,894	6,410	72
	台湾	1,744	1,273	73
ねぎ	合計	5,118	3,853	75
	中国	5,116	3,777	74

資料：農林水産省「植物防疫統計」。平成25年3月は、速報値である。

4 トピック —カット野菜の小売動向について—

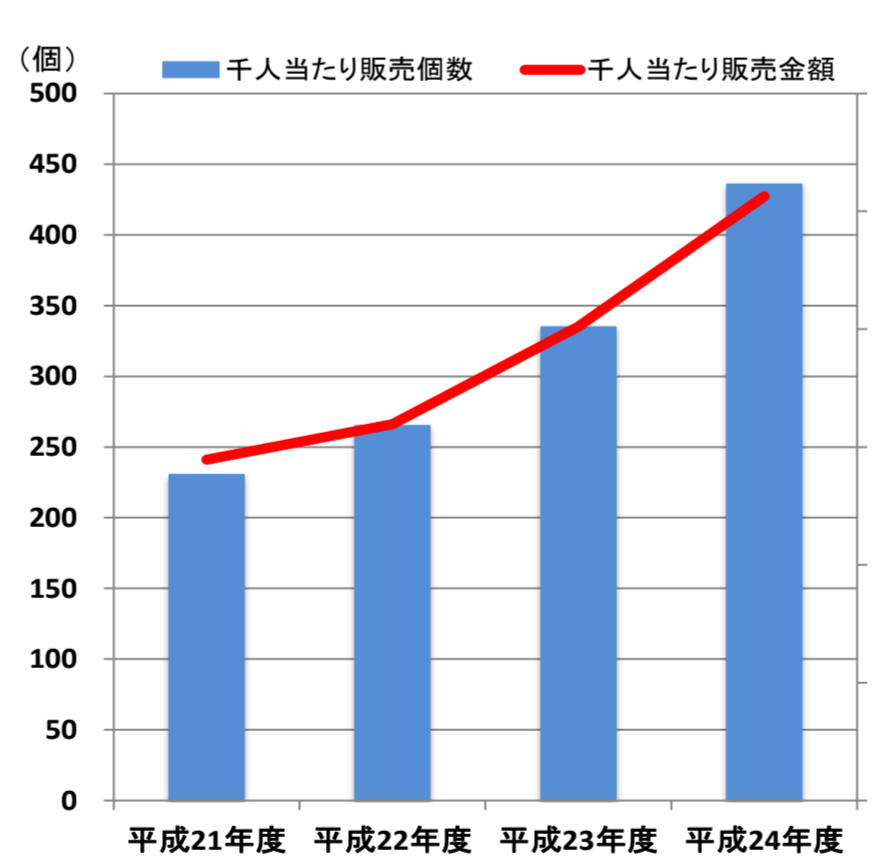
平成21～24年度の量販店等におけるカット野菜のPOS(販売時点情報管理)データから、近年需要の伸びが目立っているカット野菜の小売動向を探ってみた。メーカー数及びアイテム数は、平成24年度に大きく増加している。一方、千人当たりの販売個数と販売金額は、年を追うごとに大きく増加している。そうした中、主な品目の平均価格の推移を見ると、みずなとレタスは上昇傾向であるものの、全体的には価格がやや下がる傾向にある。また、千人当たりの販売金額の品目別の比率を見ると、平成24年度では、ミックス野菜が一番高く、次いで、キャベツ、レタス、みずなの順になっており、平成21年度と比較すると、ミックス野菜及びごぼうの比率が低くなり、キャベツ、レタス及びみずなの比率が高くなっている。カット野菜は、これまで生鮮野菜の価格が高い時に代替品として販売が伸びると言われていた。カット野菜の販売個数と生鮮野菜の卸売価格の推移を見ると、平成23年ぐらいまではそのことが当てはまる。しかし、平成24年以降は、卸売価格の高騰にあわせてカット野菜の販売個数の水準が上がり、かつ、卸売価格が下落しても販売個数はそれ程減少しない。簡便化志向の中で使いきりのできるカット野菜の利便性を知り、カット野菜の利用が定着して、需要が拡大していると最近言われるようになったが、そのことが十分に伺える推移となっている。カット野菜の小売販売動向調査はこちらから。

カット野菜のメーカー数とアイテム数の推移

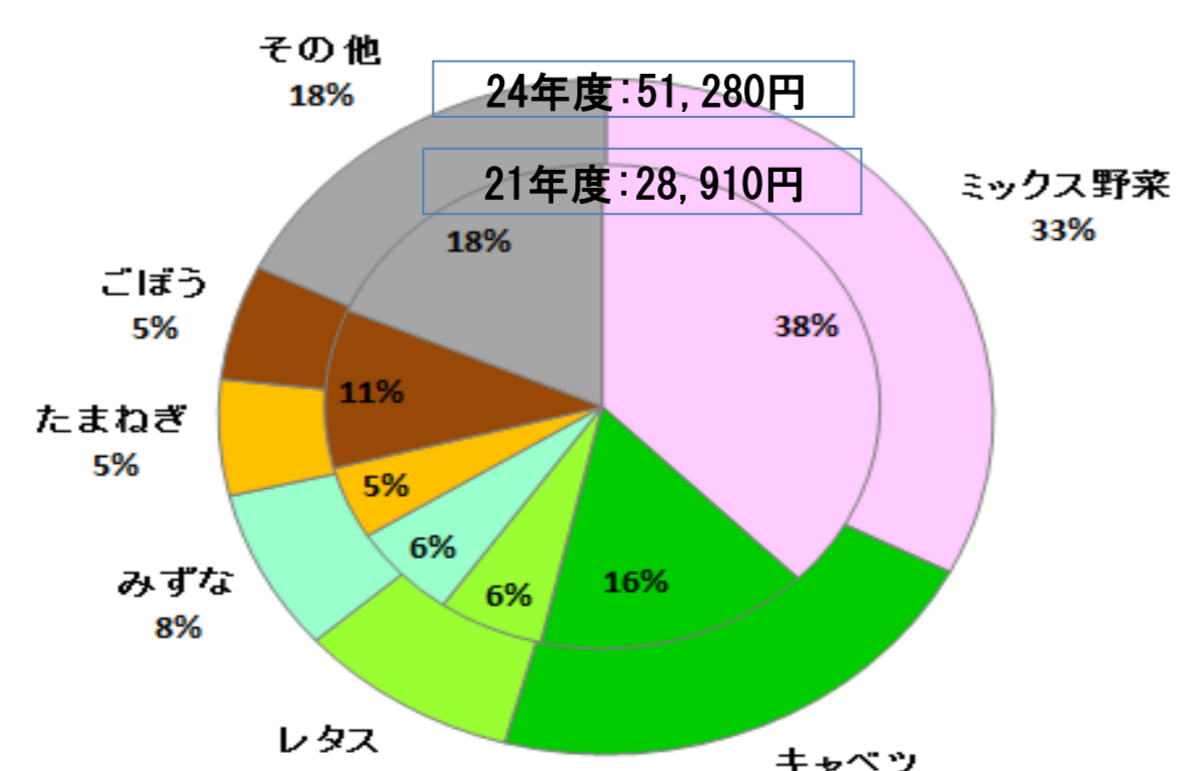


資料：農畜産業振興機構「カット野菜小売販売動向調査」

カット野菜の千人当たりの販売個数と金額の推移

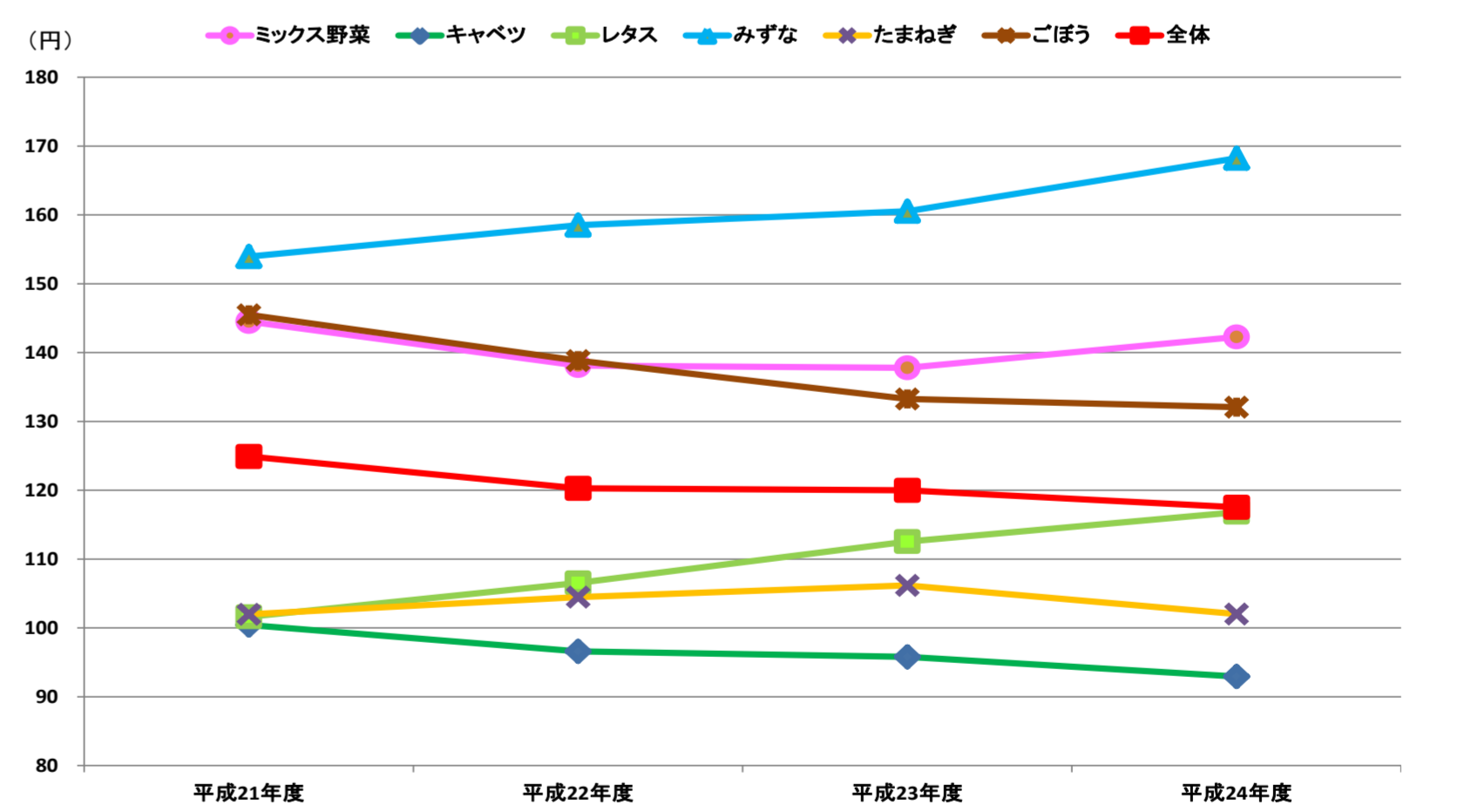


カット野菜の千人当たりの販売金額品の品目別の比率(平成21年度と24年度の比較)



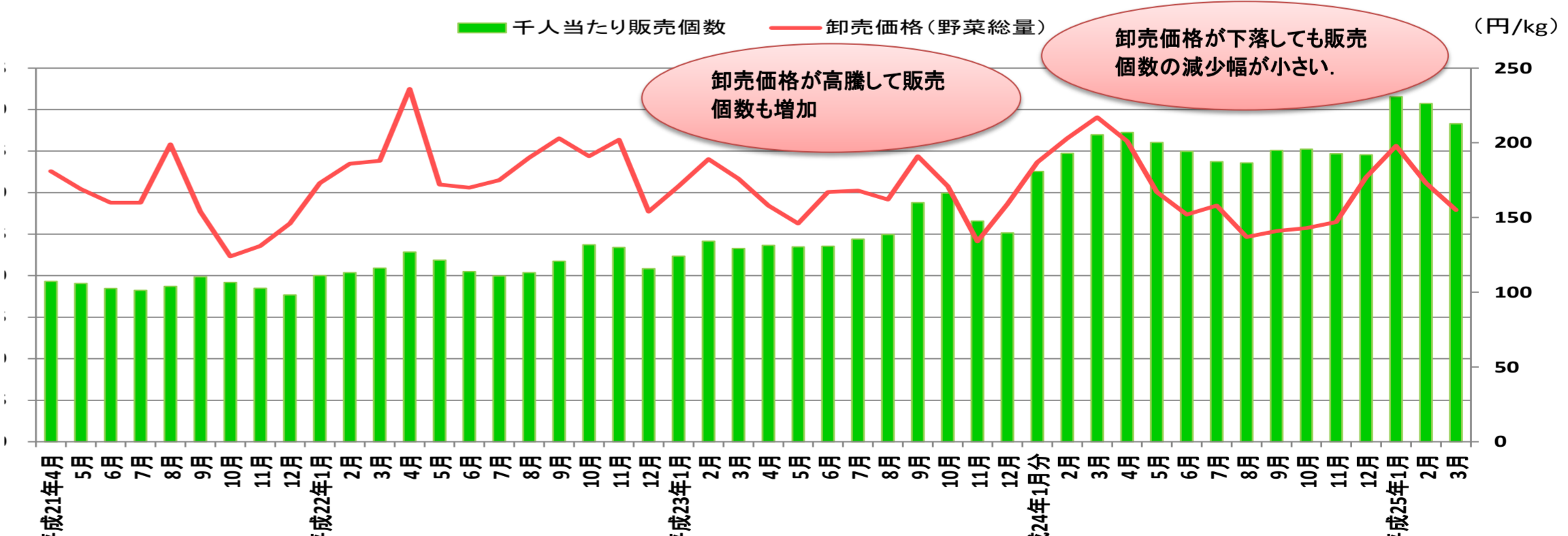
資料：農畜産業振興機構「カット野菜小売販売動向調査」

カット野菜の主な品目の平均価格の推移(平成21～24年度)



資料：農畜産業振興機構「カット野菜小売販売動向調査」
注：平均価格は、品目別又は全体の販売金額を販売個数で除したものである。

カット野菜の千人当たりの販売個数と生鮮野菜の価格の月別推移(平成21～24年度)



資料：農畜産業振興機構「カット野菜小売販売動向調査」、青果物情報センター
注：卸売価格は、東京都中央卸売市場の野菜総量の卸売価格。

1. カット野菜小売動向調査におけるカット野菜は、スーパー等の生鮮野菜の売り場や総菜売り場で販売されているカット野菜(きざみ野菜、ミックス野菜及び葉もの中心のサラダを含む。)
2. 調理用カット野菜(鍋セット、野菜炒めセット及びつまみのセット)である。ただし、2分の1カットや4分の1カット等単価の軽減等のためにカットした野菜を除く。
3. 「サラダ」のカテゴリに属するPOSデータと「その他農産」のカテゴリに属するPOSデータを収集し、野菜中心のサラダと調理用野菜を抽出した。
4. 品目別データの抽出に当たっては、商品名の最初になる品目名をキーワードとして、品目別に抽出し、品目別に分類できないものはミックス野菜としている。

◆問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。□

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はページ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。